

2030 年の私からの手紙

(原文)

小田 綺乃 (14 歳)

長野県

松本秀峰中等教育学校

10 年前環境面では地球温暖化問題、政治面では少子高齢化問題が国際的に大きな問題となっていましたね。しかしその時最も紙面を飾っていたのは、なんと言っても新型コロナウイルスに関する報道でしょう。10 年前私はこれらの問題に対して少なからず、危機感を抱いていましたね。それらの問題が今どうなっているのか書き起こしていきます。

まず、地球温暖化についてです。今はそこまで危機に瀕しているとうわけではありません。10 年前には地球温暖化による海面上昇や気候変動などが懸念されていました。さらにそれによる生物多様性の喪失が進行し、絶滅してしまう動物も出てくると言われていました。また 10 年後には世界の気温が産業革命の水準より 1.5 度高くなるとも言われていました。そうしたこともあり世界中で温暖化対策がなされていましたね。それは今も変わらず続けられています。その甲斐あって、10 年前に言われていたほど急速には進んでいません。今では新しい資源の開発が進められています。

次に、新型コロナウイルスについてです。幸いなことに流行は収束に向かい、今ではほとんど残っていません。しかし新型コロナウイルスの影響は大きなものでした。もちろん経済的な悪い影響もありましたが、ここでは良い影響を紹介します。オンライン診察や教育、また場所を選ばない働き方が格段に普及したのです。それにより医療面では診療が自宅で出来るようになり、年配の方も楽に受けられるようになっていきます。教育面ではオンライン授業によって、教育の質が向上しました。例えば視覚にうったえて理解しにくい部分を説明したり、動画等の動きのある教材を活用しています。また感染症等の出席停止期間の回復時にはオンライン授業が活用されます。場所を選ばない働き方の面では個人の生活に合わせた働き方や通勤ラッシュ削減が出来るようになりました。個人の生活に合わせた働き方が出来るようになったことで、育児をしながら働けるようになりました。また、家から会社までの距離などを気にすることがないため、できる仕事の幅が広がっています。

最後に、少子高齢化問題ですが、10 年前は少子高齢化による人手不足や年金の問題が懸念されていました。先ほど新型コロナウイルスによる場所を選ばない働き方が出来ることで、育児をしながら働けると書きました。そしてそれが可能になったことにより、出生率が増えたのです。理由は仕事を理由に出産をあきらめていた人も、出産に関して気楽に考えられるようになったことです。

これまで社会問題について書き起こしてきましたが、10年前の私が最も悩んでいたのはやはり自分の将来でしょう。10年前の私は文学部か心理学部に進みたいけれど、学部の就職率が低いことから悩んでいましたね。また勉強も思うようにできない自分に気抜けしていたことを覚えています。しかし今になって振り返ってみると、勉強とは実に簡単なもののように思います。なぜなら勉強は才能の有無に関係なく、努力さえすれば結果は出ます。10年前の私はたびたび成績上位者の人や有名大学の合格者は、なにか特別な才能がある雲の上の人と考えてしまいました。しかし冷静になって考えてみると、自分と変わらない人間でただ人一倍努力をしているだけなのです。要するに、客観的にみることが大切なのです。10年前の私にはそのことを常に頭の片隅において行動してほしいと思います。10年前の私がそれをするだけで、今の私はどうとでもなります。

10年前の私には、今後社会問題のこともよく知り考えながらも、やはり自分の将来のこともしっかり考えてほしいです。また勉強についても先ほど述べたように、社会問題についても客観的に考えてほしいです。